

知事、労働局長等が 新規高卒者の求人非要請！

～ 7 月末の県内求人数は、昨年度対比 49.3%～



9月7日(月)、佐竹敬久知事を始め、神田義宝秋田労働局長などの行政機関関係者が秋田県商工会館を訪れ、本会など経済5団体の代表者等へ、高校卒業予定者に対する採用枠の拡大と求人票の早期提出に関する会員への周知と働きかけについて要請を行った。

秋田労働局の調査によると、7月末までに提出された県内求人数は720人で、昨年同月に比べて699人、率にして49.3%の大幅な減少となっている。

佐竹知事は、「厳しい経済状況ではあるが、高校生が県外に流出すれば、県内人口が減少することに加え、少子化に拍車がかかる。9月の定例県議会には、高校生の県内就職支援のため、各種資格試験の受験料や自動車学校の入校金の助成に関する予算を提出する。」と述べ、経済団体の積極的な対応を要請した。

これに対し本会米澤会長は、要請への対応を約束した上で、「県内就職に結び付けていくためには、要請だけでなく、もう一步踏み込んだ議論の場の必要性も感じる。また、インターンシップ制度をより一層推進することが採用の拡大にもつながる。インターンシップの対応には、企業のOB人材を活用することで現役従業員の負担が軽減される。」と話した。

なお、佐竹知事はこの日、新型インフルエンザへの対応についても触れ、従業員の子どもが新型インフルエンザに感染した場合、従業員に看護のための休暇を与える体制の整備についても、会員へ周知するよう要請があった。

会員組合、組合員企業の皆さま方におかれましては、高校卒業予定者に対する採用枠の拡大

と求人票の早期提出について、ご協力をお願い致します。

また、新型インフルエンザに関する社内の体制整備もよろしくお願い致します。



神田労働局長（右）から要請書を受け取る本会米澤会長

新型インフルエンザへの 対応についてお願い

新型インフルエンザへの対応につきましては、

- ①手洗い、うがいの励行
- ②症状が出た方のマスクの着用、外出の自粛
- ③人に咳やくしゃみをかけない咳エチケットの徹底

を適切に実施するなど、感染拡大対策の実施に努めるよう改めてお願い致します。

なお、政府、県の新型インフルエンザに関する情報は、下記ホームページをご覧ください、最新の情報にご留意下さい。

○政府 (<http://www.kantei.go.jp/jp/kikikanri/flu/swineflu/>)

○秋田県 (<http://www.pref.akita.lg.jp/>)